

一般講演 午前の部

開始時間	第1会場		第2会場	
	講演番号	演題・発表者・所属	講演番号	演題・発表者・所属
10:00	1	蒸したサツマイモの糖度に関わる塊根のβ-アミラーゼ活性およびデンプン含量 中村善行*・増田亮一・高田明子・藏之内利和・片山健二 (農研機構作物研究所)	12	飼料作物としてのキノア有望品種と2回刈り栽培 石井利幸*・上野直也 (山梨県総合農業技術センター)
10:15	2	緑肥作物の施用が水稻の生育と収量におよぼす影響 勝又 瑞希・浅木 直美・Windi Al Zahra・塩津 文隆・小久保 敏明・新田 洋司・小松崎 将一 (茨城大学農学部)	13	栽植密度の違いがキノア品種NL-6の乾物生産と収量に及ぼす影響 佐藤竜司*・新井達也 ² ・磯部勝孝 ^{1,2} ・鳥越洋一 ^{1,2} (日本大学大学院生物資源科学研究科 ¹ ; 日本大学生物資源科学部 ²)
10:30	3	疎植栽培した「コシヒカリ」の生育, 収量及び玄米の品質 西川康之*・鶴岡康夫 (千葉県農林総合研究センター)	14	長日条件下におけるキノアの子実形成阻害過程 杉山光1*・原田宏樹2・磯部勝孝2・鳥越洋一1 (1日本大学大学院生物資源科学研究科; 2日本大学生物資源科学部)
10:45	4	千葉県の水稻種子生産における調製歩留りおよび収量の変動とその要因 第2報 産地や生産者間の比較による調製歩留り低下要因の解明 太田和也*・藤代 淳 (千葉県農林総合研究センター)	15	播種深度がコムギ品種「さとのそら」の生育, 収量に及ぼす影響 箕田豊尚*・岡田雄二・加藤徹 (埼玉県農林総合研究センター)
11:00	5	異なる二酸化炭素濃度下で生育した水稻のオゾン阻害に及ぼすエチレンの影響 小早川紘樹*・今井 勝 (明治大学農学部)	16	千葉県における播種時期の違いが小麦品種「さとのそら」の収量および品質に及ぼす影響 望月篤*・宇賀神七七子・鶴岡康夫 (千葉県農林総合研究センター)
11:15	6	ゆうだい21の高温登熟耐性について 林佑亮*・和田義春・高橋行継・平井英明 (宇都宮大学大学院農学研究科)	17	コムギ「さとのそら」の導入による収量と収益性の向上 大下泰生*・小島誠・宮武恭一・松山宏美・木村秀也 (農研機構 中央農業総合研究センター)
11:30	7	タカナリの染色体断片をコシヒカリ遺伝背景イネの第10染色体に置換した系統の光合成速度と乾物生産 山下雅大1*・山本敏央2・上田忠正2・七夕高也3・大川泰一郎1・平沢正1 (1東京農工大学大学院農学府・2農業生物資源研究所・3理化学研究所 環境資源科学研究センター)	18	黒種皮のインゲンマメ遺伝資源における諸特性の評価 大渦直樹1*・沖智之2 1農研機構 作物研究所・ 2農研機構 九州沖縄農業研究センター
11:45	8	水稻の光合成速度を高める第10染色体に座上する量的形質遺伝子座(QTL)の作用機構 —コシヒカリとタカナリの組換え固定系統を用いて— 山下雅大1*・山本敏央2・上田忠正2・大川泰一郎1・平沢正1 (1東京農工大学大学院農学府・ 2農業生物資源研究所)	19	落花生における白絹病の発病程度の品種間差異について 黒田幸浩*・桑田主税 (千葉県農林総合研究センター)

一般講演 午後の部

開始 時間	第1会場		第2会場	
	講演番号	演題・発表者・所属	講演番号	演題・発表者・所属
15:30	9	コシヒカリ／タカナリ染色体断片置換系統群を用いた水稻の倒伏抵抗性に関与する形質のQTLの推定 青羽遼1*・山本敏央2・平沢正1・大川泰一郎1 (1東京農工大学大学院農学府・2農業生物資源研究所)	20	異なる水ストレスがラッカセイの開花、結莢および収量に及ぼす影響 磯田 昭弘・楊 暁帆* (千葉大学園芸学研究科)
15:45	10	低窒素条件下で栽培した水稻の生理的窒素利用効率に関わる性質の品種間差とその要因 竹中友紀1*・福田善通2・山谷紘子1・横山正1・平沢正1・大川泰一郎1 (1東京農工大学大学院農学府・2国際農林水産業研究センター)	21	早播き栽培に適したダイズ品種の特性 磯部勝孝*・黒瀬知子・佐々木祐起・染谷友輝・寺澤章好・鳥越洋一 (日本大学生物資源科学部)
16:00	11	アケノホシの染色体断片をコシヒカリ遺伝背景イネの第2染色体に置換した系統の水伝導度と気孔伝導度 鈴木惟史1*・山本敏央2・安達俊輔2, 3・大川泰一郎1・矢野昌裕2・平沢正1 (1東京農工大学大学院農学府・2農業生物資源研究所・3科学技術振興機構・さきがけ)		